戦略的M&A

戦略的M&A

戦略的M&A

M&A戦略と方針

当社は、注力する消化器科、泌尿器科、呼吸器科における既存の疾患領域や高成長が期待できる関連分野において、タックインM&A*1の機会を通じて製品ポートフォリオを継続的に強化します。そして包括的なソリューションを提供することで、患者さんの治療成果の向上に貢献する方針です。

オリンパスの事業開発チームは、ケア・パスウェイの強化という戦略に沿ったM&A機会の探索および追求する役割を担っています。

事業開発チームは、事業部門および各部門のリーダーと緊密 に連携し、毎年の戦略的事業計画(SBP:Strategic Business Planning)のプロセスで定義された戦略を実行しています。そして、オリンパスが製品ポートフォリオを拡大し、新しい市場に参入するための潜在的なターゲットを特定しています。ターゲットが特定されると、ディールチームが編成され、その案件がオリンパスに付加価値をもたらすかを確認するために、デューデリジェンスを実施し、統合計画を検討します。また、買収した企業が当社の営業活動や業務へ円滑に統合され、事業計画を達成できるよう、合併後の統合(Post-merger integration、以下PMI)プロセスを監督しています。

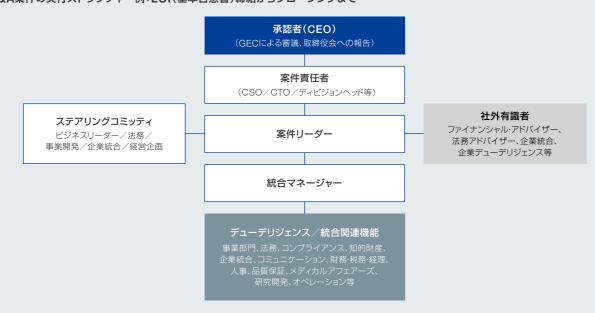
*1 当社のポートフォリオに合致し、既存のビジネスを補完・増強するためのM&A

M&Aのプロセス

M&Aのすべてのプロセスは戦略から始まります。年に1度、SBPプロセスの中で対象案件をロングリストにまとめ、レビューした上で、ショートリストにします。SBPプロセスはダイナミックなもので、1年間の目標を定めるためにこのプロセスを用いており、戦略の機会を精査する際にも活用しています。

このプロセスの中で、オリンパスの戦略、各事業部門の戦略、 各ビジネスユニットの戦略といったさまざまな戦略的な観点から案件を捉えています。 そして案件が戦略的に期待できると確信できた場合は、ディールチームが編成され、財務基準を含む多面的な観点から、デューデリジェンスやPMIを管理します。最終的には、機能横断的なステアリングコミッティ(運営委員会)によってPMIが管理され、各案件を定期的にグループ経営執行会議(GEC: Group Executive Committee)へ報告し、KPI等を把握した上で、案件が期待通りに事業計画を達成できるものであるかを確認しています。

M&A案件の実行ストラクチャー例:LOI(基本合意書)締結からクロージングまで



M&A例:Odin Medical(Odin Vision)社

Odin Medical社の概要

2022年12月、当社は内視鏡画像診断に関する革新的なクラウド型AI技術を提供するOdin Vison社を条件付き対価を含む約6,600万ポンドで買収しました。

Odin Vison社は、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)のWellcome/EPSRC Centre for Interventional and Surgical Sciences (WEISS)*2に在籍する著名な臨床 医と人工知能の専門家チームによって設立されました。同社 は、患者さんの予後の改善につながる質の高い医療ケアを 提供するために、医療従事者を支援するだけでなく、医療従事者にも高い価値を提供するためのデジタル技術の提供を ミッションとして掲げています。また同社が提供する革新的な クラウド型AIプラットフォームは、大腸内視鏡検査や食道/胃/十二指腸内視鏡検査などにおいて、一連の内視鏡診療をAIが支援するための次世代ソリューションの提供を目指しています。

買収の目的

当社では、臨床の現場および各手技におけるワークフローの変革により、医療ケアを患者さんに提供するためのデジタル戦略に取り組んでおり、この買収はその戦略の重要な要素です。また当社は、Odin Vision社の買収を通じてデジタル戦略実現の基礎を固めたロンドンを皮切りに、世界各地にデジタル・エクセレンス・センター(Digital Excellence Centers、以下DEC)を設立する計画を立てています。オリンパスのデジタル戦略に、Odin Vision社の強力なポートフォリオ、AI技術、ソフトウェアの専門知識や開発能力を組み込むことで、相乗効果を生み出すと考えています。今後、DECはハンブルク、ボストン、東京など当社の主要な技術開発拠点に設立さ

れる予定であり、将来的に はシリコンバレーやテルア ビブへの進出も視野に入 れています。



*2 UCLの医療とエンジニアリングの知見を融合した医工連携で、革新的な治療ソリューションを研究しています。 詳細はこちらをご覧くだい。https://www.ucl.ac.uk/interventional-surgical-sciences/

M&A例: Arc Medical Design社

Arc Medical Design社の概要

当社は、2020年8月にArc Medical Design社を買収しました。これまでも同社の ENDOCUFF VISION*3の独占販売契約を保有していましたが、この買収によってArc Medical Design社の革新的な製品に関するすべての権利を取得しました。

買収の目的

Arc Medical Design社を買収したことで、オリンパスは全ENDOCUFF製品群に関する設計、製造、販売、事業戦略をグローバルに担っています。これにより、臨床成果の改善、医療コストの削減、患者さんのQOL向上にさらに貢献します。



M&A後の状況

2023年3月期

- 2023年3月期における売上高:前期比約 40%増
- 主力製品であるENDOCUFF VISIONの売 上高は米国を中心に前期比約40%増と好調
- 2022年3月期では欧米に加え、香港、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、ベトナムでも販売を開始。2023年3月期では、インド、マレーシア、シンガポール、韓国で販売を開始するため、医師の評価を実施中

2024年3月期~

- 2024年3月期における売上高の見通し: 2桁成長
- 戦略:
- ・販売計画と優先順位付けされたアカウントターゲティングツールを開発
- ・手技普及と標準化のための、クレームとトレーニングを簡素化
- ・市場浸透を高めるために保険適用と対象製品を拡大
- ・ENDOCUFF VISIONとAIの臨床的な価値を生み出す戦略を策定
- ・科学文献のロードマップを策定し、掲載に向けて訴求することにより、 メッセージ性を高める

66 | Olympus Integrated Report 2023 | 67

^{*3} 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております